

横浜市民生委員推薦会会議録		
日 時	令和7年10月20日（月）	午後3時30分～午後5時
開催場所	市庁舎31階 N03会議室	
出席者	石内委員、武田委員、梁田委員、碓井委員、赤川委員、内田委員、松林委員、小藪委員、菊池委員	
欠席者	なし	
開催形態	非公開	
議題	1 正副委員長の選出 2 民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦	
決定事項	1 委員長の選出 ・民生委員法第8条第3項の規定に基づき、委員の互選により石内委員を委員長に選出した。 2 民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦 (1) 民生委員・児童委員候補者の審議 全員（3,714名）を適任と認め、令和7年12月1日付委嘱候補者として市長に推薦することとする。 (2) 主任児童委員候補者の審議 全員（461名）を適任と認め、令和7年12月1日付委嘱候補者として市長に推薦することとする。	
特記事項	《主な意見》 ◎委員 ○事務局 【民生委員の選出について】 ◎資料に民生委員の選出母体が記載されていない理由は。 選出母体は町内会だと思うが、地区社協から選ばれたと誤解している人もいる。 ○資料5「推薦要綱」第11条に地区推薦準備会の記載があるが、今後どのように記載するか検討したい。 ◎地域が選出する委員の中には、管理組合から選出が不可な委員もあるようで、「なぜ民生委員は管理組合から選出できるのか」と質問されたことがある。	

- 自治会町内会からの推薦なのか、管理組合からの推薦なのか、分かるようにしたほうが良いと思う。
- ◎推薦母体の実態はしっかりとしていると思うが、明記したほうが良いと思うので、検討をお願いしたい。

【充足率と推薦の仕組みについて】

- ◎充足率が減少傾向にあり、今後も低下が予想される。
- 現状、自治会町内会以外からの推薦の仕組みを検討しているか。
- ◎区ごとにいくつかの公募枠を設け、欠員補充を検討するというようなことができないのか。
- 自治体によっては公募枠を設けているところもあるようだが、公募後に地区にて推薦する形をとっている。公募による候補者確保には課題もあると感じている。
- 区によっては回覧やマンションの掲示板を活用している例もあるように聞いている。

【候補者の審議について】

- ◎青少年指導員やスポーツ推進委員などは兼任なのか。
- 兼任。
- ◎地域活動の記載について、何か統一的に決められているのか。
- 基本は履歴書に記載された内容を区が入力している。すべてを統一させるのは難しいが、地域に顔が通じているかなどを聞いてもらっている。

【地域ケアプラザとの連携について】

- ◎ケアラーは孤独しがちな面がある。直接的に民生委員に紹介するとかではないが、介護中でも地域活動に繋げられると、後々、介護がひと段落した時に、経験を活かして、民生委員をやってみようという方が出てくるかもしれない。ケアラーからの相談を受けているケアプラザが、将来、民生委員となるような人と地域をつなぐハブ機能になると良いと思った。

【民生委員・児童委員、主任児童委員について】

- ◎民生委員は「地域に根付いて顔が広い人」というイメージが強い。学校運営協議会で任意選出される場合もあるが、認知度には地域差があるよう思う。
- ◎子供たち、若者、学校の先生などに、もっと民生委員・児童委員、主任児童委員を知ってもらうようにする必要がある。